

ハチ博士の ミツバチコラム

17



京都学園大学
バイオ環境学部
坂本文夫教授

甘露蜜

もうすぐクリスマス。ツリーの飾り付けは子供達だけでなく大人も楽しい気分にさせてくれます。クリスマスツリーと言えば、やはりモミの木ですね。モミの木を始め多くの樹木から甘露蜜という特別な蜂蜜がとれることはご存知ですか？

甘露蜜は木の樹液や植物に寄生する昆虫が出す分泌物をミツバチが集めたもの。モミに寄生する昆虫の分泌物をミツバチが集めた甘露蜜がモミの蜂蜜で、樹木の精油を含むために独特の香りがあり、程よい酸味とミネラルを多く含むために濃い色調を持ち、ドイツでは最高級の蜂蜜として

好まれています。

甘露蜜をつくる寄生昆虫としてはカイガラムシとアリマキが有名ですが、これらは樹皮に口針を突き刺して樹液を吸って生きています。樹液には糖分が多く、必要な栄養分を吸収しても大量の糖が余るので、余った糖は体外に分泌されます。カイガラムシではこの分泌物が結晶して貝殻状の被覆物になり、アリマキは樹皮に点々としずくのような甘露を分泌して、自分たちを護衛してくれるアリへの報酬にしているのです。

甘いものには目のないミツバチ達は、毒ではない甘いものは何でも吸って巣箱に運びます。カイガラムシやアリマキの分泌物は大事な蜜源になるわけです。そういえば、軒下に吊り下げた、まだ柔らかくて甘い汁たっぷりの干し柿にもミツバチ達が蜜集めに来ています。



イラスト おおくほひとみさん

めに来ています。